

第31回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）  
マラソン代表選手選考要項

1. 編成方針

本大会でのメダル獲得を含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

2. 選考競技会

(1) 男子

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会（2015/北京）
- ② 第69回福岡国際マラソン選手権大会（2015/福岡）
- ③ 東京マラソン2016（2016/東京）
- ④ 第71回びわ湖毎日マラソン（2016/大津）

(2) 女子

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会（2015/北京）
- ② 第1回さいたま国際マラソン（2015/さいたま）
- ③ 第35回大阪国際女子マラソン（2016/大阪）
- ④ 名古屋ウィメンズマラソン2016（2016/名古屋）

3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録を有効期間内に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

(1) 内定条件

選考競技会①の男女マラソン8位以内入賞者で、日本選手最上位者各1名を内定する。

(2) 選考条件

男女選考競技会②～④において日本人3位以内の競技者から、下記の1)から2)の優先順位で選考する。

1) 日本陸連設定記録を有効期間内に満たした競技者。（各最大1名）

2) 各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

4. 参加標準記録及び日本陸連設定記録

| 種目     | 参加標準記録    | 日本陸連設定記録  |
|--------|-----------|-----------|
| 男子マラソン | 2時間18分00秒 | 2時間06分30秒 |
| 女子マラソン | 2時間44分00秒 | 2時間22分30秒 |

5. 選考方法

(1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。

(2) 選考基準(2)による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。

6. その他

(1) 各記録の有効期間は下記の通り。

参加標準記録：2015年1月1日～2016年3月13日

日本陸連設定記録：2014年4月1日～2016年3月13日

(2) 資格記録は、上記有効期間内で国際陸上競技連盟が、第15回世界陸上競技選手権大会（2015/北京）及び本大会の参加標準記録として承認する競技会での記録を対象とする。

(3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は国際陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(4) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。

(5) 選考基準(2)-1)からの選考は、複数回の選考競技会に出場した場合の順位及び記録も評価の対象とする。

(6) 選考基準(2)-2)からの選考は、当該選手が出場した初回の選考競技会を評価の対象とする。

(7) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

(8) 補欠は選考しない。

(9) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。

(10) 本大会は、2016年8月12日～8月21日までリオデジャネイロ（ブラジル）で開催される。

以上